

## 情報基礎実習 第 10 回

2014 年 6 月 26 日 (木)、6 月 27 日 (金)

担当教員：逸村裕、高久雅生

TF：池田光雪

情報基礎実習最終回となる第 10 回ではこれまでのまとめとして TA・TF・担当教員から総評を行うに留め、新たなテーマを取り上げることはしない。話に集中すること。

また、第 10 回のレポート課題は必須課題とオプション課題の 2 種を出す。必須課題に加えオプション課題を提出した場合、オプション課題の分の評価を評定に上乗せする。余力がある者や評定に不安があるものは積極的に挑戦せよ。具体的な加算方法は授業中に口頭で説明を行う。

### 必須課題・オプション課題共通事項

- 締め切り
  - 木曜クラス：7 月 7 日 (月) 15:00
  - 金曜クラス：7 月 8 日 (火) 15:00
- 課題名
  - 木曜クラス必須課題：必須課題 (木)
  - 木曜クラスオプション課題：オプション課題 (木)
  - 金曜クラス必須課題：必須課題 (金)
  - 金曜クラスオプション課題：オプション課題 (金)
- 備考
  - これまでのテキストや演習中、返却レポート内などで指示・指摘された細かいレポートの書式 (ページ番号の付与や使用フォントなど) は全て遵守せよ。既に周知した書式を満足していなかった場合は減点の対象となる
  - 提出後におけるレポートの差し替えは担当教員が認めた場合を除き、原則として認めない
  - レポート中のあらゆる箇所において手書きは不可とする
  - 提出先を間違った場合、原則として採点の対象外とする
    - ◇ 今回は 4 個のレポートボックスを設置するため、特に注意を払うこと
  - 必須課題を出さずにオプション課題のみを提出した場合、採点は行わない

## 必須課題

良質な情報源を作成するにはコストがかかる。特に、査読論文には大きなコストがかかっている。第6回演習では CiNii Articles などを利用しフリーアクセス<sup>1</sup>できる論文とそうでない論文をそれぞれ数多く見つけたことと思う。なぜこのような状況になっているのか、またどうあるべきかについて、必須課題では関連する論文を参照あるいは引用しつつ論じてもらう。

- **内容**

論文にはなぜフリーアクセスできるものとできないものがあるのかについて、関連する論文を複数探し、それらを参照あるいは引用しつつ 2,000 字以上であなた自身の考えを論ぜよ。また、論述の末尾に (n,nnn 文字) という形式で本文の文字数を記載せよ

- **書式**

Lab2014-1docx を適宜書き換えて使用し、1 ページ/枚で A4 片面モノクロ印刷。複数枚になる場合はステイプラー（針無しは不可）で左上 1 箇所を綴じよ

- **提出先**

春日エリア 7B 棟 2 階 学務前レポートボックス

## オプション課題

“プレゼンテーション”の一形態として、自分の主張を 1 枚のポスターにまとめて発表するポスター発表がある。ポスター発表は少なくとも形式上は自分の話を聞いてくれる普通の口頭発表とは異なり、通りがかった人が興味を持たなければ誰にも話を聞いてもらえない。よって内容の吟味と同等、またはそれ以上に見せ方を工夫する必要がある。

オプション課題では Microsoft PowerPoint 2010 を用いて簡単なポスターと、ポスターを説明する Word 文書の 2 種類を作成してもらう。

- **内容**

p.3-4 に示す課題に取り組み、印刷体・ファイルの両方を提出せよ。印刷体はレポートボックスに、ファイルは指定されたメールアドレスに添付して提出すること

- **提出先（印刷体）**

春日エリア 7B 棟 2 階 学務前レポートボックス

- **書式（印刷体）**

片面 A4 モノクロ印刷した Word 文書と、A4 判に縮小カラー印刷したポスターをこの順で一緒にステイプラー（針無しは不可）で左上 1 箇所を綴じたもの

---

<sup>1</sup> フリーアクセスとは、インターネット上において無料でアクセスできるようにすることという。類義語としてオープンアクセス（主として学術論文をインターネット上で無料かつ無条件に利用できるようにするシステムまたはサービス）、パブリックアクセス（学術論文をインターネット上で無料かつ無条件に利用できるようにすること）などがある

- 横向きのパスターを縦向きの文書と合わせて綴じる場合の向きは、授業中で説明した方法に準ずるものとする
- **提出先（ファイル）**
  - 木曜クラス：mitsu+jk14throp@klis.tsukuba.ac.jp
  - 金曜クラス：mitsu+jk14friop@klis.tsukuba.ac.jp
- **メール提出における要件・注意事項**
  - 差出人のメールアドレスのドメインは筑波大学のもの（u.tsukuba.ac.jp など）であること
  - 件名は半角英数字で **学籍番号\_氏名** とせよ
    - ◇ 201499999 の筑波太郎であれば 201499999\_筑波太郎 とする
  - 本文は『共通科目「情報（実習）」の手引き 2014 年度』p.22–24 を参考にせよ
  - 提出するファイルの名前は半角英数字で **学籍番号下 3 桁\_提出月日\_性\_拡張子** という命名規則に従うこと
    - ◇ 201499999 の筑波太郎が 2014 年 7 月 5 日に提出するのであれば、「999\_0705\_Tsukuba.docx」「999\_0705\_Tsukuba.pptx」という 2 つのファイルを作成・送付することになる
  - メールクライアントから差出人の名前設定をせよ。ただし、必ず半角英数字のみで設定を行うこと。大文字・小文字をどのように使うかは各自の好みで構わない
  - その他、第 6 回レポートの講評時に述べたメール提出における細かなマナーや注意事項は極力遵守せよ。あまりに不適切なメールと判断した場合は受理しない
  - メール提出に対しては **TF** が上記要件を確認し、**36 時間以内**に受理、不受理のどちらかを通知する返信を行う。メール提出の要件を全て満たさない限りオプション課題は採点の対象とはならないため、送信前に要件を全て満たしているかよく確認すること。不受理の通知が届いた場合のみ締め切り内での再提出を認めるが、これにより締め切りが延びることはない
    - ◇ **TF** からの返信はあくまでもおまけ的な位置づけである。すなわち、メール提出における要件を全て満たしている場合、提出メールの送信日時が締め切り内であれば、返信が締め切り内に届かなくとも受理扱いである

## オプション課題の内容

Microsoft PowerPoint 2010 を用いて、大学説明会で掲示することを想定した横使いの A3 パスター（課題 A）と、パスターの説明等を記述した Word 文書（課題 B）を作成せよ。パスターで一度に多くのことを伝えることは困難であるため、何を伝えるべきかをよく考え、多くても数個に絞り込むことが望ましい。

なお、この課題で作成したパスターは Web サイトなどで一括して公開、あるいは本学類の紹介などで使用する可能性がある。心して制作せよ。

## 【課題 A】

筑波大学の大学説明会（原則として知識情報・図書館学類の大学説明会とする<sup>2)</sup>）で「本学開講の演習授業における成果物」として掲示することを想定した、次の条件(1)～(3)を全て満たすポスターを作成せよ。

- (1) ポスターのテーマは次の(A)～(C) 3種のテーマいずれかを自分なりに主張するものとする
  - A) AAA（科目名）はXXX（形容）な科目です
  - B) 知識情報・図書館学類はこんなにYYY（形容）です
  - C) 学生宿舎はZZZ（形容）なところですよ/自宅通学・下宿はZZZ（形容）です
- (2) サイズはA3 297mm×420mm、向きは横向きとする
  - ▶ PowerPoint 2010 では、[デザイン]タブの[ページ設定]から、[スライドのサイズ設定(S)]を「A3 297×420mm」、[印刷の向き]（スライド）を「横(L)」と設定すればよい
  - ▶ なお、A3サイズで作成したスライドをA4サイズに縮小印刷するには、印刷の設定を図1のようにすればよい
- (3) 図（写真）あるいは図形機能を使って作成したイラストを含めること。写真を使う場合の出典の表示は第5回レポートに準ずるものとする
- (4) 配色や文字の大きさなどにも配慮せよ。あらゆるモニターや印刷体で発色を揃えることは非常に困難だが、どのような媒体でもある程度は読める、さらには見やすいと思うような配色であることが望ましい

## 【課題 B】

Lab2014-1.docx を用いて、「ポスターで訴えたかったこと」「課題の感想」「ポスター制作にかかった時間」の3点を最低限詳述した Word 文書を作成せよ。

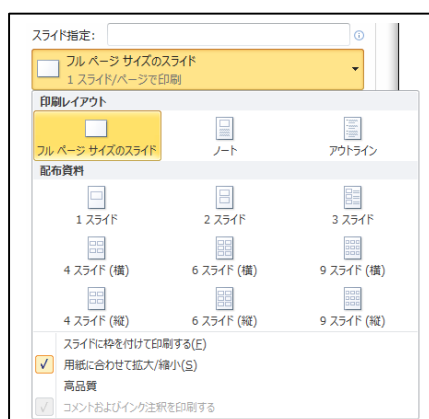


図 1. Microsoft PowerPoint 2010 における用紙に合わせた印刷の設定

<sup>2)</sup> 知識情報・図書館学類以外に所属する受講生においては、この限りではない